

NETIS 新技術情報提供システム New Technology Information System


[NETISとは](#) | [新技術の検索](#) | [新技術の最新情報](#) | [新技術の申請方法](#)
NETISのRSS
配信

RSS

[サイトマップ](#)

新技術概要説明情報

「概要」「従来技術との比較」等のタブをクリックすることでそれぞれの内容を閲覧することができます。関連する情報がある場合は画面の上部にあるリンクをクリックすることができます。

[更新履歴](#)

ものづくり 日本大賞	国土技術 開発賞	建設技術 審査証明 ※	他機関の 評価結果

2016.07.06現在

[ページ印刷用表示](#)
[印刷用表示](#)

技術 名称	パネル式吊り棚足場		事後評価未実施技術	登録 No.	HK-160001-A	
事前審査	事後評価		技術の位置付け(有用な新技術)			
	試行実証評価	活用効果評価	推奨 技術	準推奨 技術	評価促進 技術	活用促進 技術
			旧実施要領における技術の位置付け			
			活用促進 技術(旧)	設計比較 対象技術	少実績 優良技術	
活用効果調査入力様式			適用期間等			
-A 活用効果調査入力システムを使用してください。			-			

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。申請情報の最終更新年月日:2016.04.18

[概要](#) | [従来技術との比較](#) | [特許・審査証明](#) | [単価・施工方法](#) | [問合せ先・その他](#) | [詳細説明資料](#)

副 題	道路橋点検・補修用のシステム式吊り棚足場(ネオベスパ・スパイダーパネル)	区分	工法
分類1	仮設工 - 足場支保工 - 足場工		
分類2	道路維持修繕工 - 橋梁補修補強工 - 上・下面増厚工		
分類3	道路維持修繕工 - 橋梁補修補強工 - 防食対策工		
分類4	橋梁上部工 - 鋼橋架設工 - 仮設工		

概要

①何について何をやる技術なのか?

- 道路橋の点検・補修等の仮設足場をユニットパネル化したシステム式吊り棚足場

②従来はどのような技術で対応していたのか?

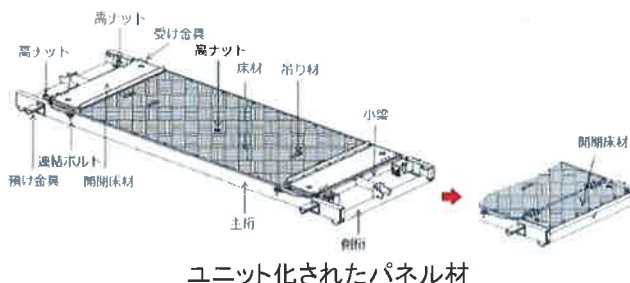
- パイプ吊り足場

③公共工事のどこに適用できるのか?

- 鋼橋現場塗装工
- 橋梁補修補強工
- 道路橋の点検工
- 橋梁上部工

製品一覧表

名称	サイズ	質量	許容積載荷重(中央集中)
3.85m/パネル	0.66m × 3.85m	41.8kg	3.75kN
3.0m/パネル	0.66m × 3.0m	34.2kg	4.80kN
2.0m/パネル	0.66m × 2.0m	26.0kg	7.95kN



新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

- ・単管・クランプ・足場板等で構築していた床部をユニットパネルで一体化とした。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

- ・ユニットパネル化により、高所での設置・撤去作業を減少させ工程短縮が図れる。
- ・工程短縮により、労務費が減り経済性が向上した。
- ・工程短縮により、交通規制期間が短縮され周辺への影響が減少した。
- ・フラットな作業面により、段差がなく安全性が向上した。
- ・開閉床材内蔵により、養生作業が減少し経済性が向上した。
- ・完成後の美観に優れ、現場のイメージアップが図れる。

③その他

- ・段差なし、養生作業減少をコンセプトに開閉床材内蔵型のパネルを開発した。
- ・本製品は日鐵住金建材(株)(製品名:ネオベスバ)及び、ホリー株式会社(製品名:スパイダーパネル)で販売を行っている。



左:ユニットパネルの組み立て、右:開閉床材付近

適用条件

①自然条件

- ・特になし

②現場条件

- ・10tトラック1台分の資材置き場として、約20~25㎡を必要とする。
(現場から離れた場所でも可能)

③技術提供可能地域

- ・制限なし

④関係法令等

- ・特になし

適用範囲

①適用可能な範囲

- ・桁材が鋼製の場合、吊りチェーン用クランプを設置することができるフランジ、又は吊りピースが設けられていること。
- ・桁材がコンクリート製の場合、アンカー等の施工が可能であること。
- ・桁材が曲率半径40m以上であること。(直線は問題なし)

②特に効果の高い適用範囲

- ・足場設置・撤去時に交通規制が必要な道路橋
- ・河川上や床版下に障害物があるなど、地上から足場が組立てられない場所
- ・テーブルリフター等がとどかない、高所作業
- ・立体交差している道路橋
- ・桁下に別の構造物がある道路橋

③適用できない範囲

- ・吊りチェーン用クランプが設置できないフランジ、または吊りピース・アンカー等がなく、吊りチェーンが設置できない現場。
- ・桁材が曲率半径40m未満の現場。

④適用にあたり、関係する基準およびその引用元

- ・国土交通省 土木工事安全施工技術指針 平成21年改訂版 第2章 安全措置一般 第5節 墜落防止の措置 1.(7) 足場通路等からの墜落防止措置

第2章 安全措置一般 第6節 飛来落下の防止措置 2. 飛来落下防護

・建設工事公衆災害防止対策要綱 土木工事編

第1章 総則 第8-2 付近居住者等への周知

第14章 高所作業 第101 落下物に対する防護

第17章 その他 第113 環境保全

・国土交通省 土木工事共通仕様書 平成27年4月改訂版

第10編 道路編 第4章 鋼橋上部 第6節 橋梁現場塗装工 1-3 一般事項

第10編 道路編 第4章 鋼橋上部 第10節 鋼橋足場等設置工

10-4-10-1 一般事項、10-4-10-2 橋梁足場工、10-4-10-3 橋梁防護工

第10編 道路編 第5章 コンクリート上部 第14節 コンクリート足場等設置工

10-5-10-1 一般事項、10-5-10-2 橋梁足場工、10-5-10-3 橋梁防護工

留意事項

①設計時

- ・1枚目のパネルは吊り位置4箇所、2枚目以降は既存のパネルが支えになるため吊り位置2箇所とする。
- ・チェーン斜め吊りにより吊りチェーン用クランプが外れないよう、設置位置(向き)を考慮し設計すること。
- ・許容積載荷重以下で設計を行うこと。
- ・計画はネオベスパ又はスパイダーパネルの施工マニュアルによること。

②施工時

- ・ネオベスパ又はスパイダーパネルの施工マニュアルを理解し作業手順を守ること。
- ・安全帯を使用すること。
- ・作業は2人1組で行うこと。
- ・パネル等の部材は投げないこと。
- ・設置、撤去中のパネルには乗らないこと。
- ・設置、撤去作業中は下に入らないこと。

③維持管理等

- ・足場使用期間中は始業前にチェーンの緩み、各部材に異常がないか等を点検し、異常があった場合、すみやかに復旧すること。

④その他

- ・吊りチェーン用クランプ及び、吊りチェーン等は(一社)仮設工業会認定品を使用すること。

このシステムはInternet Explorerの文字サイズ「小」で開発しております。

[プライバシーポリシー](#) /

[著作権等について](#)

Copyright 2004, New Technology Information System All Rights Reserved.